

平成22年8月期 第1四半期決算短信

平成22年1月8日

上場会社名 株式会社 ファーストリテイリング
 コード番号 9983 URL <http://www.fastretailing.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 柳井 正
 (氏名) 徳永 敏久

TEL 03-6272-0070

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第1四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第1四半期	263,464	39.8	61,060	49.1	58,649	58.2	34,853	57.2
21年8月期第1四半期	188,510	—	40,943	—	37,082	—	22,170	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第1四半期	342.42	—
21年8月期第1四半期	217.68	217.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第1四半期	536,199	276,596	51.2	2,695.57
21年8月期	463,285	261,413	56.0	2,550.86

(参考) 自己資本 22年8月期第1四半期 274,368百万円 21年8月期 259,639百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	75.00	—	85.00	160.00
22年8月期	—	—	—	—	—
22年8月期 (予想)	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	459,500	28.6	89,000	27.4	86,500	37.0	48,000	35.0	471.58
通期	820,000	19.7	130,500	20.1	125,500	23.9	67,500	35.6	663.16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第1四半期	106,073,656株	21年8月期	106,073,656株
② 期末自己株式数	22年8月期第1四半期	4,288,500株	21年8月期	4,288,346株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第1四半期	101,785,230株	21年8月期第1四半期	101,850,007株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成21年9月1日～平成21年11月30日）におけるわが国の経済は、海外経済の回復による輸出が増加するなど明るい兆しもみられた一方、企業収益や設備投資は低水準にとどまり、個人所得が伸び悩むなか、消費者の節約志向が強まるなど、引き続き厳しい事業環境となりました。

国内のアパレル小売業界においては、少子高齢化により若年層が減少し、可処分所得に占める衣料品等への支出割合も低下を続けていることから、市場規模の縮小が続いております。また、欧米の大手アパレル小売企業も本格的に出店を開始しており、グローバルリテーラーも交えた厳しい競争環境が継続することが予想されます。

このような状況のなか、当社グループは「2020年に世界No.1のアパレル製造小売グループになる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。2010年8月期第1四半期の取り組みとしては、ユニクロ事業において、10月に3番目のグローバル旗艦店となる「パリ オペラ店」を出店し、デザイナーのジル・サンダー氏との取り組みによる「+J」（プラス・ジェイ）商品を世界同時発売するなど、ユニクロブランド、商品の強化をすすめております。

国内ユニクロ事業においては、ネオレザージャケットをはじめとしたアウター、ファッション性を取り入れた秋物の新商品、生産数量を拡大したヒートテックなどの販売が好調に推移し、11月の「ファーストリテイリング60周年記念キャンペーン」など積極的な販促活動を展開したことにより、来店客数と客単価が前年度を大きく上回りました。また、スクラップ・アンド・ビルドによる店舗の大型化をすすめ、直営店舗数も前年同期比で25店舗増えたことから、売上高は2,049億円（前年同期比30.2%増）、営業利益562億円（同42.9%増）と大幅な増収増益となりました。なお、店舗数は、当第1四半期に直営店を33店舗出店、11店舗閉店した結果、期末の店舗数は792店舗（フランチャイズ店20店舗含む）となりました。出店した33店舗のうち10店舗は大型店であり、当第1四半期期末における大型店は81店舗となっております。

海外ユニクロ事業は、アジア・欧米地域で出店が順調にすすみ、ブランド認知度も高まってきていることから各国で販売が好調に推移し、大幅な増収増益となっております。アジア地域では、中国で10店舗、韓国で13店舗、香港で1店舗を出店し、店舗数が前年同期末比で倍増となり、既存店売上高も好調に推移しております。欧州では、パリのグローバル旗艦店が大きな反響を呼び、「+J」の販売効果により英国でのブランド認知度も高まったことから、大幅な増収増益を達成しております。

国内関連事業においては、2009年3月の「990円ジーンズ」発売以降、好調な売上が続いているジーユー事業で大幅な増収増益となっております。靴事業ではフットパーク店舗の縮小を計画通り進めたことにより赤字幅は拡大しております。キャビンにおいては、ファッションアパレル業界の消費不振の波を受けて既存店売上高の前年割れが続いており、業績は計画を下回っております。

グローバルブランド事業は、セオリー事業を新規に連結したことから大幅な増収増益となっております。なおセオリー事業は減収増益、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業は計画通り業績が推移しております。

以上の結果、当第1四半期の売上高は2,634億円（前年同期比39.8%増）、営業利益610億円（同49.1%増）、経常利益586億円（同58.2%増）、四半期純利益348億円（同57.2%増）と大幅な増収増益を達成いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期末における総資産は5,361億円となり、前期末に比べ729億円の増加となりました。これは主として、現金及び預金が497億円増加したこと、受取手形及び売掛金が288億円増加したこと、有価証券が173億円減少したことによるものです。

負債は2,596億円となり、前期末に比べ577億円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が455億円増加したこと、為替予約が145億円増加したことによるものです。

純資産は2,765億円となり、前期末に比べ151億円の増加となりました。これは主として、利益剰余金が262億円増加したこと、繰延ヘッジ損益が87億円減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べ、324億円増加し、2,020億円となりました。

営業活動による収入は、529億円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益584億円によるものです。

投資活動により支出した金額は、61億円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出44億円、敷金保証金の差入による支出20億円によるものです。

財務活動により支出した金額は、117億円となりました。これは主として、配当金の支払額85億円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期の業績を考慮し、連結売上高・営業利益を、以下のとおり増額修正いたします。

なお、平成21年10月8日付「平成21年8月期 決算短信」で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(第2四半期連結累計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	437,500	78,500	76,000	42,500	417	55
今回修正予想 (B)	459,500	89,000	86,500	48,000	471	58
増減額 (B - A)	+22,000	+10,500	+10,500	+5,500		—
増減率 (%)	+5.0%	+13.4%	+13.8%	+12.9%		—
前中間期実績	357,424	69,856	63,160	35,552	349	06

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	798,000	120,000	115,000	62,000	609	13
今回修正予想 (B)	820,000	130,500	125,500	67,500	663	16
増減額 (B - A)	+22,000	+10,500	+10,500	+5,500		—
増減率 (%)	+2.8%	+8.8%	+9.1%	+8.9%		—
前期実績	685,043	108,639	101,308	49,797	488	96

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合については、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

また、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合については、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,630	43,876
受取手形及び売掛金	44,072	15,213
有価証券	108,566	125,875
たな卸資産	76,740	74,580
繰延税金資産	26,543	22,187
未収還付法人税等	4,893	4,771
その他	16,346	11,842
貸倒引当金	△172	△175
流動資産合計	370,621	298,171
固定資産		
有形固定資産	48,784	45,946
無形固定資産		
のれん	37,503	39,399
その他	15,400	15,913
無形固定資産合計	52,904	55,312
投資その他の資産	63,888	63,854
固定資産合計	165,577	165,114
資産合計	536,199	463,285
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,487	56,930
短期借入金	10,104	11,775
1年内返済予定の長期借入金	2,869	3,098
未払法人税等	22,096	27,022
為替予約	55,438	40,846
引当金	1,376	1,665
その他	40,285	34,263
流動負債合計	234,658	175,602
固定負債		
長期借入金	17,186	17,980
引当金	339	1,130
その他	7,418	7,158
固定負債合計	24,944	26,269
負債合計	259,603	201,871

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	5,000	5,000
利益剰余金	321,643	295,442
自己株式	△16,256	△16,254
株主資本合計	320,661	294,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,761	△9,353
繰延ヘッジ損益	△33,005	△24,289
為替換算調整勘定	△1,525	△1,179
評価・換算差額等合計	△46,292	△34,822
少数株主持分	2,227	1,774
純資産合計	276,596	261,413
負債純資産合計	536,199	463,285

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
売上高	188,510	263,464
売上原価	92,383	125,399
売上総利益	96,126	138,065
販売費及び一般管理費	55,182	77,004
営業利益	40,943	61,060
営業外収益		
受取利息及び配当金	345	71
持分法による投資利益	7	—
その他	317	179
営業外収益合計	670	250
営業外費用		
支払利息	336	167
為替差損	4,020	2,307
その他	175	186
営業外費用合計	4,532	2,662
経常利益	37,082	58,649
特別利益		
貸倒引当金戻入額	21	—
事業整理損失引当金戻入額	—	140
その他	18	31
特別利益合計	40	171
特別損失		
店舗閉鎖損失	112	143
固定資産除却損	80	181
その他	—	34
特別損失合計	193	359
税金等調整前四半期純利益	36,928	58,460
法人税、住民税及び事業税	12,867	21,973
法人税等調整額	1,879	1,167
法人税等合計	14,746	23,140
少数株主利益	11	467
四半期純利益	22,170	34,853

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36,928	58,460
減価償却費及びその他の償却費	2,064	2,770
のれん償却額	1,177	1,876
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44	724
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17	24
受取利息及び受取配当金	△345	△71
支払利息	336	167
為替差損益 (△は益)	1,905	945
持分法による投資損益 (△は益)	△7	—
固定資産除却損	80	181
売上債権の増減額 (△は増加)	△22,783	△28,953
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,514	△2,770
仕入債務の増減額 (△は減少)	39,631	45,958
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,578	△4,633
その他の負債の増減額 (△は減少)	3,995	4,589
その他	△14	△44
小計	48,939	79,224
利息及び配当金の受取額	370	75
利息の支払額	△80	△107
法人税等の支払額	△23,657	△26,262
その他の支出	△1	△11
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,570	52,919
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	84	51
有形固定資産の取得による支出	△2,741	△4,491
無形固定資産の取得による支出	△1,778	△362
敷金及び保証金の差入による支出	△1,045	△2,083
敷金及び保証金の回収による収入	783	968
建設協力金の支払による支出	△207	△374
建設協力金の回収による収入	542	547
預り保証金の受入による収入	99	67
預り保証金の返還による支出	△247	△28
その他	△121	△455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,633	△6,160

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△264	△1,601
長期借入金の返済による支出	△298	△790
長期未払金の返済による支出	△45	△46
配当金の支払額	△6,542	△8,502
その他	△66	△814
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,216	△11,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,884	△2,506
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,836	32,496
現金及び現金同等物の期首残高	169,888	169,574
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	82	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	175,807	202,070

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める衣料品販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別のセグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	172,053	9,628	6,828	188,510	—	188,510
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	101	159	260	(260)	—
計	172,053	9,729	6,987	188,770	(260)	188,510
営業利益（又は営業損失）	39,352	△62	747	40,036	907	40,943

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州……………フランス、イギリス

その他の地域……アジア、北米

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	227,491	14,547	21,425	263,464	—	263,464
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	103	533	672	(672)	—
計	227,527	14,650	21,959	264,136	(672)	263,464
営業利益	56,549	337	3,516	60,404	656	61,060

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州……………フランス、英国

その他の地域……中国・香港、韓国、シンガポール、米国

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日）

	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	9,497	6,958	16,456
II 連結売上高（百万円）			188,510
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	5.0	3.7	8.7

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 欧州……………フランス、イギリス
 (2) その他の地域……アジア、北米
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日）

	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	14,395	21,694	36,090
II 連結売上高（百万円）			263,464
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	5.5	8.2	13.7

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 欧州……………フランス、英国
 (2) その他の地域……中国・香港、韓国、シンガポール、米国
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 部門別売上実績

部門	前年同四半期 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)		(参考) 平成21年8月期	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
メンズ	66,924	35.5	81,032	30.8	230,739	33.7
ウィメンズ	71,131	37.7	100,111	38.0	245,386	35.8
キッズ・ベビー	9,285	4.9	11,841	4.5	27,263	4.0
グッズ・その他	6,769	3.6	8,204	3.1	24,501	3.6
国内ユニクロ商品売上合計	154,110	81.8	201,190	76.4	527,890	77.1
F C 関連収入・補正費売上高	3,220	1.7	3,726	1.4	10,296	1.5
国内ユニクロ事業合計	157,331	83.5	204,917	77.8	538,187	78.6
海外ユニクロ事業	9,055	4.8	20,745	7.9	37,789	5.5
ユニクロ事業合計	166,387	88.3	225,663	85.7	575,976	84.1
国内関連事業	13,602	7.2	14,441	5.5	51,514	7.5
グローバルブランド事業	7,907	4.2	22,885	8.7	55,583	8.1
その他事業	613	0.3	474	0.2	1,967	0.3
合計	188,510	100.0	263,464	100.0	685,043	100.0

- (注) 1 F C 関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ(補正)の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
- 2 ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
- 3 国内関連事業は、キャビン事業(「アンラシーネ」、「ザジ」ブランド等の国内における婦人向け衣料品販売事業)、ジュー事業(「ジュー」ブランドの衣料品販売事業)、靴事業で構成されております。
- 4 グローバルブランド事業は、コントワー・デ・コトニエ事業(「COMPTOIR DES COTONNIERS (コントワー・デ・コトニエ)」ブランドの国内・海外における衣料品販売事業)、プリンセス タム・タム事業(「PRINCESSE TAM. TAM (プリンセス タム・タム)」ブランドの欧州における衣料品販売事業)及びセオリー事業(「Theory (セオリー)」、「Helmut Lang (ヘルムート・ラング)」ブランド等の国内・海外における衣料品販売事業)で構成されております。なお、セオリー事業は前第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めているため、前年同四半期の売上実績にはセオリー事業の売上高は含まれておらず、平成21年8月期の売上実績には平成21年3月1日～平成21年8月31日(6ヶ月間)の売上高が含まれております。
- 5 その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
- 6 当第1四半期連結会計期間より、国内ユニクロ商品の一項目であるインナーの売上高をメンズ・インナーとウィメンズ・インナーに区分集計し、メンズとウィメンズの各項目に含めて表示しております。なお、前年同四半期及び平成21年8月期におけるメンズとウィメンズの各売上高及び構成比は、遡及修正した数値になっております。
- 7 上記金額には、消費税等は含まれておりません。